

# YJ5900

---

バーコードスキャナ

## ユーザーズガイド

## 免責事項

Youjie社（以下“**Youjie**”）は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならず**Youjie**にお問い合わせください。

本書の情報について**Youjie**では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、**Youjie**では一切の責任を負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、**Youjie**の文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

© 2014 All rights reserved.

---

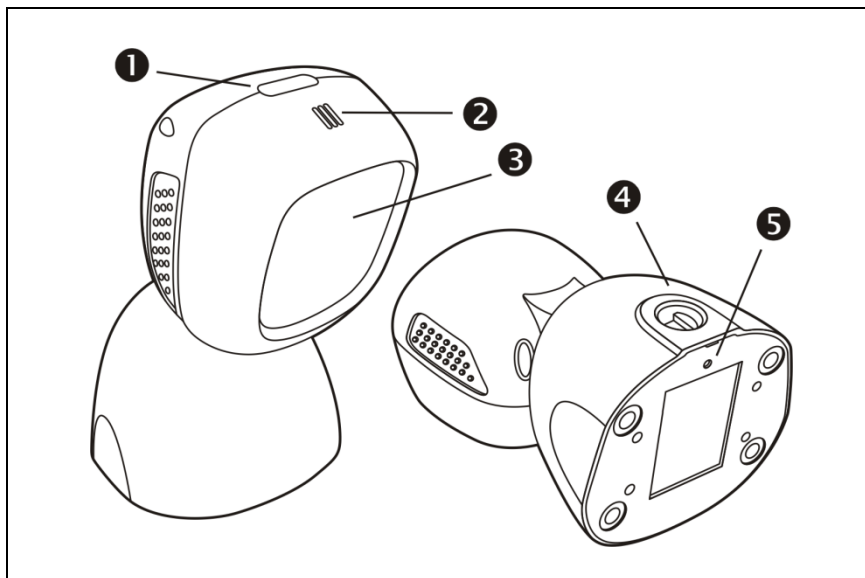
# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
YJ5900のコンポーネント.....	1
注意とシリアル番号ラベル.....	2
保守.....	2
ケーブルの装着と脱着.....	3
スキャナ角度の変更.....	4
<b>スキャナ操作</b> .....	<b>5</b>
スキャンパターンの初期設定.....	5
音表示.....	5
視覚表示.....	6
失敗モード.....	7
標準分解能.....	7
IR検知エリア.....	8
<b>トラブルシューティングガイド</b> .....	<b>9</b>
<b>動作仕様</b> .....	<b>13</b>
<b>設定について</b> .....	<b>17</b>
バーコード設定方法.....	17
Multi-Code Method.....	17
工場出荷時設定の復元.....	18
<b>コードタイプとデコードルール</b> .....	<b>19</b>
2 of 5 Codes.....	19
Code 39.....	20
追加デコード機能.....	20
<b>補足</b> .....	<b>21</b>
<b>Scanner Operation</b> .....	<b>23</b>
リダンダントスキャン.....	23
データ送信ディレー.....	23
ピープ音.....	25
<b>プリフィックス/サフィックス</b> .....	<b>27</b>
ユーザーが設定可能なプリフィックス、すべてのデータ.....	27
標準プリフィックス文字.....	27
標準サフィックス文字.....	28
ユーザーが設定可能なサフィックス、すべてのデータ.....	30

<b>コードフォーマット</b> .....	<b>31</b>
UPC/EANフォーマット .....	31
<b>コードバイトの使用法</b> .....	<b>35</b>
Code Bytes 0-9 .....	35
リザーブコード .....	37
コードタイプテーブル .....	37
ASCII リファレンステーブル .....	38
拡張キーコードリファレンステーブル .....	42
<b>テクニカルサポート</b> .....	<b>45</b>
<b>条件付保証</b> .....	<b>46</b>

# はじめに

## YJ5900のコンポーネント



No.	説明
1	LED 表示
2	ビープ穴
3	赤色レーザー放射ウィンドウ
4	10-Pin RJ45メスソケット
5	ケーブルリリース用穴

図 1. スキャナコンポーネント

## 注意とシリアル番号ラベル

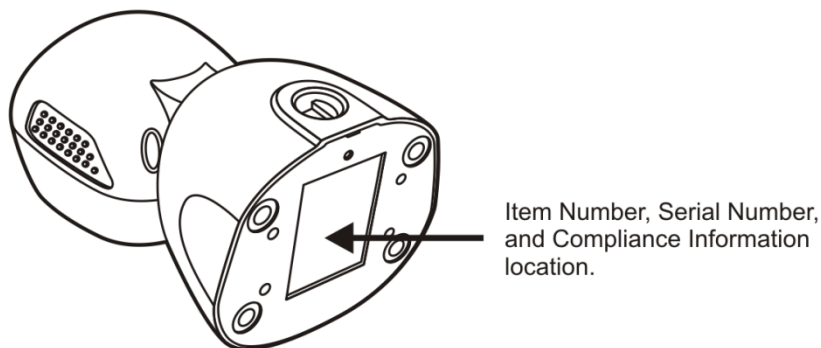


図2. スキャナ底面にあるラベル位置

**注意：** 該当する規格適合を維持するために、イメージャーに接続されたすべての回路はEN/IEC 60950-1に従ってSELV（安全特別定電圧）の条件を満たさなければなりません。  
EN/IEC 60950-1の適合を維持するには、電源は適用範囲の必要条件を満たさなければなりません。  
製品は 5V/500mAです。



## メンテナンス

ウィンドウのシミや汚れは読取性能に影響を与える可能性があります。ウィンドウのクリーニングが必要な場合、アンモニアを含まないガラス用マイルドクリーナーを使用してください。ウィンドウをクリーニングする際、毛羽立ちのない非研磨性の布にクリーナーを吹き付け、やさしくウィンドウを拭いてきれいにしてください。

本体のクリーニングが必要な場合、酸化物質を含まないマイルドクリーナーを使用してください。強い洗剤は本体に変色またはダメージを与える場合があります。

## ケーブルの装着と脱着

### 装着

1. ケーブルのモジュラーコネクタをスキャナのソケットに差し込んでください。
2. ケーブルが確実に装着されているかモジュラーコネクタを軽く引いて確認してください

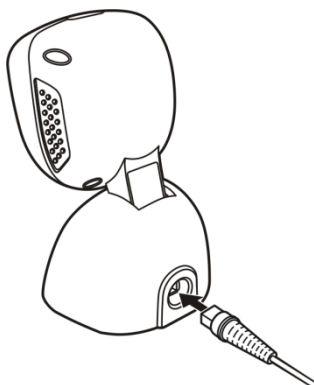


図 3

### 脱着

ケーブルをスキャナから外す前にホストシステムの電源を切ってください。

1. スキャナのケーブル付近の底にある小さい穴を確認します。
2. クリップの先を図のように反対に曲げます。
3. クリップ（または小さい金属のピン）をリリース穴に挿入します。ケーブルコネクタのロックが外れると、小さくクリック音がします。
4. ケーブルのモジュラーコネクタをやさしく引き、ケーブルを外します。

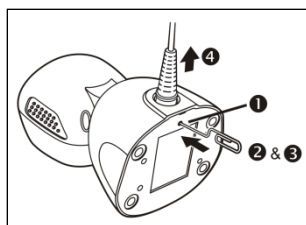


図 4



---

## スキャナ角度の変更

スキャナヘッドは後ろに10度、前に20度傾けることができます。

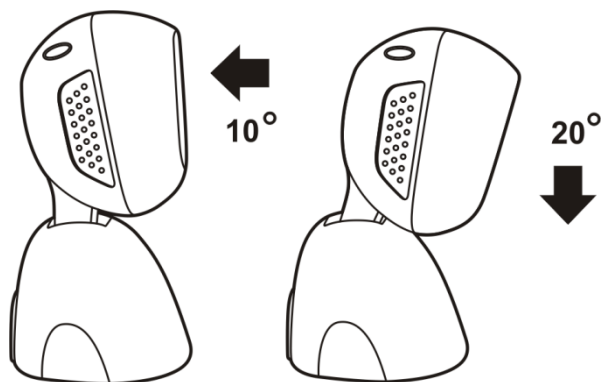


図 5



# スキャナ操作

## スキャンパターンの初期設定

主な初期スキャンパターンはオムニディレクショナルでスキャナが開始するとアクティブになります。

### 音表示

スキャナが使用可能な場合、スキャナの状態と最後のスキャンを示すために音によるフィードバックを提供します。ビープ音のトーンは8種類の設定ができます。（通常音、6種類の交互音、ビープ音なし）

#### ビープ音1回 - 電源投入時

機器に電源が投入されると、緑色のLEDが点灯し、その後赤色のLEDが点滅し、ビープ音が1回鳴ります。ビープ音の間、赤色LEDが点灯します。スキャナの読取ができます。

スキャナがバーコードの読取に成功すると、赤色LEDが点滅し、ビープ音が鳴ります（設定していた場合）。ビープ音が鳴らず、赤色LEDが点滅しなかった場合、バーコードは正確に読み取れていません。

#### ビープ音3回 - 動作時

スキャナがコンフィギュレーションモードの場合、スキャナがビープ音を3回鳴る間赤色LEDが点滅します。コンフィギュレーションモードが解除されるまで、赤色LEDと緑色LEDが点滅し続けます。コンフィギュレーションモードが解除される際、3回ビープ音が鳴り、赤色LEDの点滅がストップします。

設定する場合、ビープ音3回はノーマルスキャンモードでの通信タイムアウトを示します。

1コードプログラミング設定を使用する場合、スキャナは現在の選択されたトーン（通常の音調で音が鳴り、短いポーズの後に高音と低音のブザー音）で3回ビープ音が鳴ります。スキャナに1コードプログラミングの内容が設定されています。

### 異常音

失敗時の表示です。7ページの失敗モードを参照してください。

#### ビープ音3回 - 電源投入時

失敗時の表示です。7ページの失敗モードを参照してください。

## 視覚表示

スキャナには赤色LEDと緑色LEDが付いており、動作時にスキャナの状態とスキャンの状態を表示します。

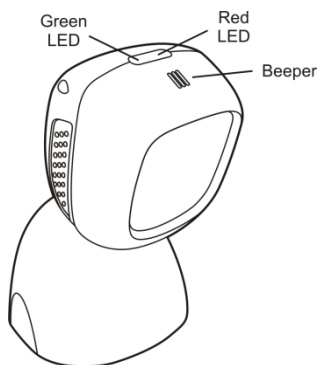


図 6. LED Location

### 緑色と赤色LEDオフ

スキャナがホストから電源を供給されていない場合、LEDは点灯しません。

### 緑点灯

緑点灯はレーザーがアクティブであることを示しています。

### 緑色オフと赤フラッシュ 1 回

スキャナがバーコードの読取に成功すると、赤色LEDが点滅しビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴らず、赤色LEDが点滅しなかった場合、バーコードは正常に読み取れていません。

### 緑点灯と赤点灯

読取成功後、スキャナはホストにデータを送信します。一部の通信モードでは、ホストがデータを受信できる準備ができていることをスキャナに知らせる必要があります。ホストが情報を受信できる準備ができていない場合、データを転送できるようになるまでスキャナの赤色LEDが点灯したままになります。

### 緑色と赤色のLEDが交互に点滅

スキャナはナビゲーションモードです。異常音はこのモード中に不正なバーコードが読み取られたことを示しています。

### 赤点灯

これはスキャナがホストからの通信を待機していることを示しています。

---

## 失敗モード

### 緑色点滅と異常音 1 回

これはスキャナのレーザーが異常であることを示しています。スキャナを修理の為にサービスセンターに返却してください。

### 緑色と赤色の点滅と異常音 2 回

これはスキャナのモーターが異常であることを示しています。スキャナを修理の為にサービスセンターに返却してください。

### LEDが点灯せず、異常音が鳴り続ける

電源投入時にスキャナが異常音を鳴動し続ける場合、スキャナは電氣的に異常であることを示しています。スキャナを修理の為にサービスセンターに返却してください。

### ビーブ音3回 - 電源投入時

電源投入時に3回ビーブ音が鳴る場合、スキャナの設定を保持している不揮発性メモリに異常があります。スキャナを修理の為にサービスセンターに返却してください。

## バーコードエレメント幅による分解能

バーコードエレメント幅		分解能	
		Start (スキャナ面から)	End (スキャナ面から)
0.13 mm	5 mil	50 mm (2.0")	100 mm (3.9")
0.19 mm	7.5 mil	40 mm (1.6")	185 mm (7.3")
0.26 mm	10.4 mil	20 mm (0.8")	260 mm (10.2")
0.33 mm	13 mil	20 mm (0.8")	310 mm (12.2")

## IR検知エリア\*

YJ5900の初期パワーセーブモードはレーザーオフです。設定した時間スキャナを使用しないとパワーセーブモードがスキャナのレーザーをオフにします。IR検知エリア内に動くものを検知すると、パワーセーブモードが解除されます。レーザーは自動的にバーコードの検知、デコード、伝送の準備に戻ります。

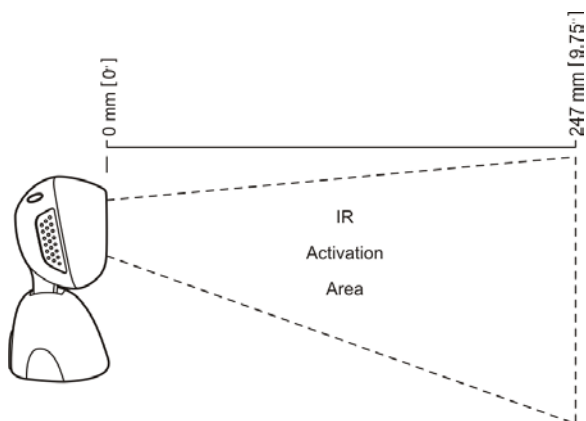


図 7. 標準IR検知エリア

\* すべての仕様は予告なしに変更する場合があります。

# トラブルシューティングガイド

次のガイドは参照目的のみです。限定保証を維持するためにはカスタマーサービスに連絡してください。

Symptoms	Possible Causes	Solution
<i>All Interfaces</i>		
The unit has no LEDs, beep or motor spin.	No power is being supplied to the unit.	Check the transformer, the outlet and power strip. Make sure the cable is plugged into the unit.
The unit has no LEDs and/or beeper.	No power is being supplied to the unit from host.	Some host systems cannot supply enough current to power the scanner. A power supply may be needed.
At power up the unit beeps three times.	There is a non-volatile RAM failure.	Contact a customer service representative.
At power up there is a continuous razz tone.	There has been a diagnostic failure.	
At power up there is a razz tone and the green LED flashes.	There is a VLD failure.	
At power up the unit razzes twice and both LEDs flash.	There is a scanning mechanism failure.	
There are multiple scans upon presentation of code.	The same symbol timeout is set too short.	Adjust the same symbol timeout for a longer time increment.
The unit scans a bar code, but locks up after the first scan (the red LED stays on.)	The scanner is configured to support some form of host handshaking but is not receiving the signal.	If the scanner is setup to support ACK/NAK, RTS/CTS, XON/XOFF, or D/E, verify the host cable and host are supporting the handshaking properly.
The unit powers up, but does not beep.	The beeper may be disabled or no tone has been selected.	Enable beeper and select a tone.

Symptoms	Possible Causes	Solution
The unit scans but the data transmitted to the host is incorrect.	The scanner's data format does not match the host system requirements.	Verify the scanner's data format matches the format required by the host. Make sure the scanner is connected to the proper host port.
Scanner beeps at some bar codes and NOT for others of the same bar code symbology.	The bar code may have been printed incorrectly.	Check if it is a check digit, character, or border problem.
	The scanner is not configured correctly for the type of bar code.	Check if check digits are set properly.
	The minimum symbol length setting does not work with the bar code.	Check if the correct minimum symbol length is set.
The unit powers up, but does not scan and/or beep.	The unit is trying to scan a particular symbology that is not enabled.	UPC/EAN, Code 39, interleaved 2 of 5, Code 93, Code 128 and Codabar are enabled by default. Verify the type of bar code being read has been selected.
	The bar code being scanned does not satisfy the configured criteria for character length lock or minimum length.	Verify the bar code being scanned falls into the configured criteria.  <i>The scanner defaults to a minimum of four-character bar code.</i>

Symptoms	Possible Causes	Solution
<i>RS232 Only</i>		
The unit powers up OK and scans OK but does not communicate properly to the host.	The com port at the host is not working or is not configured properly.	Check to make sure the baud rate and parity of the scanner and the communication port match and that the program is looking for RS232 data.
	The cable is not connected to the proper com port.	
	The com port is not operating properly.	
The host is receiving data but the data does not look correct.	The scanner and host may not be configured for the same interface.	Check that the scanner and the host are configured for the same interface.
Characters are being dropped.	The intercharacter delay needs to be added to the transmitted output.	Add some intercharacter delay to the transmitted output by scanning an Intercharacter bar code on page 23.





# Design Specifications

## Operational

Normal Depth of Field:	20 mm – 310 mm (0.8" – 12.2")	0.33 mm (13 mil) Bar Code
<i>Omni Scan</i>		
Scan Speed:	1650 scan lines per second	
Scan Pattern:	20	
Motor Speed:	5000 RPM	
Minimum Bar Width:	0.127 mm (5 mil)	
Decode Capability:	Reads standard 1D and GS1 DataBar symbologies.	
System Interfaces:	USB, RS232	
Print Contrast:	35% minimum reflectance difference	
No. Characters Read:	Up to 80 data characters. The maximum number will vary based on symbology and density.	
Beeper Operation:	7 tones or no beep	
Indicators (LED):	Red = good read, decoding	
	Green = laser on, ready to scan	
<i>Embedded Laser</i>		
Max Optical Power:	10 mW	
Wavelength:	640 – 660 nm	
Min Beam Divergence:	6°	

*Specifications subject to change without notice.*

---

## ***Mechanical***

Width:	87 mm (3.4")
Depth:	98 mm (3.8")
Height:	169 mm (6.6")
Weight:	382 g (13.5 oz)

## ***Electrical***

Input Voltage:	5VDC $\pm$ 0.5V	
Power:	Operating:	2 W
	Standby:	1.25 W
Current:	Operating:	400 mA average @ 5VDC
	Standby:	250 mA average @ 5VDC
DC Transformers:	Class II; 5.2VDC @ 1A	

## ***Environmental***

Temperature:	Operating:	-20°C to 40°C (-4°F to 104°F)
	Storage:	-40°C to 60°C (-40°F to 140°F)
Humidity:	5% to 95% relative humidity, non-condensing	
Ventilation:	None required	

## ***Adapter***

Input:	100-240VAC, 50-60Hz, 0.3A
Output:	5VDC, 1A
Model:	3A-052WP05

---

## Scanner Pinout Connections

The scanner interfaces terminate to a 10-pin modular socket.

USB Serial, Limited RS232		RS232C and Light Pen Emulation	
Pin	Function	Pin	Function
1	Ground	1	Ground
2	RS232 Transmit Output	2	RS232 Transmit Output
3	RS232 Receive Input	3	RS232 Receive Input
4	RTS Output	4	RTS Output
5	CTS Input	5	CTS Input
6	USB D+	6	DTR Input/LTPN Source
7	V USB	7	Reserved
8	USB D-	8	LTPN Data
9	+5VDC	9	+5VDC
10	Shield Ground	10	Shield Ground



# Configuration Introduction

Your new scanner has been factory configured with a set of default parameters. Since many host systems have unique formats and protocol requirements, a wide range of configurable features that may be selected using this bar code based configuration tool are provided. Once the configuration is completed, the scanner stores the settings in nonvolatile memory (NOVRAM). NOVRAM saves the settings when the power is off.

*Note: Bar code descriptions marked with an asterisk ( \* ) define a feature that is a factory default.*

## Bar Code Configuration Method

All features can be enabled or disabled using the Multi-Code Method.

### Multi-Code Method

1. Power up the scanner.
2. Scan the *Enter/Exit Configuration Mode* bar code (3 beeps).
3. Scan the bar code for the desired feature (1 beep). Multiple features can be enabled/disabled before scanning the enter/exit configuration mode bar code.
4. Scan the *Enter/Exit Configuration Mode* bar code (3 beeps) and save the new configuration. To abort a configuration change, power off the scanner before scanning the *Enter/Exit* code.

### Enter/Exit Configuration Mode



---

## ***Returning to Factory Defaults***

Scan the *Recall Defaults* bar code to erase all previous settings and return the scanner to its factory default communication protocol.

### **Recall Defaults**



# Code Types and Decode Rules

Bar code descriptions marked with an asterisk ( \* ) define a feature that is a factory default.

## 2 of 5 Codes

ITF Symbol Length Lock 1



To specify a first ITF symbol length lock, scan this bar code and the appropriate code byte sequence located on page 35.

ITF Symbol Length Lock 2



To specify a second ITF symbol length lock, scan this bar code and the appropriate code byte sequence located on page 35.

ITF Minimum Symbol Length



To specify a minimum number of ITF characters to be decoded, scan the appropriate code byte sequence located on page 35.

---

## Code 39

\* Normal C39  
Aggressiveness



Increased C39  
Aggressiveness



## Additional Decode Features

Minimum Symbol Length



Single-line default is 3.  
Combine this code with  
the proper code bytes (on  
page 35), to specify the  
minimum number of  
characters in all non-  
UPC/EAN bar codes.

Symbol Length Lock



Combine this code with  
the proper code bytes, to  
lock the bar code's length  
into place.



# Supplements

Enable Bookland (979)  
Supplement Required



\* Disable Bookland (979)  
Supplement Required



Enable Bookland (978)  
Supplement Required



\* Disable Bookland (978)  
Supplement Required



Enable 977 (2 Digit)  
Supplement Required



\* Disable 977 (2 Digit)  
Supplement Required



The scanner will require a 2 digit supplement to be scanned when an EAN-13 code begins with 977.

---

Enable ISBN Check Digit  
Transmission



Disable ISBN Check Digit  
Transmission



Enable Bookland to ISBN  
Conversion



\* Disable Bookland to  
ISBN Conversion



# Scanner Operation

## Redundant Scans

\* 0 Redundant Scans



Requires 1 good decode for a *good scan*.

1 Redundant Scan



Requires 2 consecutive decodes of the same bar code data for a *good scan*.

## Data Transmission Delays

Use these codes to select the amount of delay between sending data characters from the scanner to the host. This helps prevent the scanner from overflowing host-input buffers.

\* 1 msec Intercharacter Delay



10 msec Intercharacter Delay



---

25 msec Intercharacter  
Delay



Variable msec  
Intercharacter Delay



Scan this bar code and a sequence of code bytes on page 35 to set the delay between characters sent to the host system (range from 1 to 255 msec.).

---

## ***Beeper Tone***

Scan a Beeper Tone bar code to change the beeper tone from the default Normal Tone.

\* Normal Tone



No Beep



Optional Tone 1



Optional Tone 2



Optional Tone 3



Optional Tone 4



Optional Tone 5



Optional Tone 6





# Prefixes/Suffixes

Scan the Enter Configuration Mode bar code before trying to set these features (see the Multi-Code Method on page 17.)

## User Configurable Prefixes, All Data

Configurable Prefix  
Character #1



A prefix ID can be added and assigned for data transmission. Use this code with a code byte sequence, on page 35, which represents the desired character.

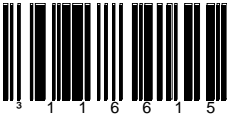
Configurable Prefix  
Character #2



Assigns a second configurable prefix character.

## Standard Prefix Characters

Enable STX Prefix



\* Disable STX Prefix



---

## Standard Suffix Characters

### \* Enable CR Suffix



The scanner transmits a carriage return after each bar code.

### Disable CR Suffix



### \* Enable LF Suffix



The scanner transmits a line feed after each bar code. *Disabled when keyboard wedge defaults are loaded.*

### Disable LF Suffix



### Enable Tab Suffix



The scanner will transmit a TAB (ASCII 09H) after each bar code.

### \* Disable Tab Suffix





---

Enable ETX Suffix

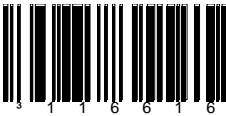


The scanner will transmit  
End of TeXt (ASCII 03H)  
after the bar code date.

\* Disable ETX Suffix

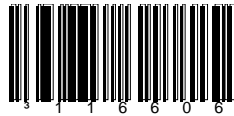


Enable UPC Suffix ID



The scanner will transmit a  
suffix after any UPC/EAN  
bar code. The suffixes are  
A (UPC-A), E (UPC-E), F  
(EAN-13) and F (EAN-8).

\* Disable UPC Suffix ID



Enable NCR Suffix  
Character



---

## User Configurable Suffixes, All Data

*Note: Scan the Enter/Exit Configuration mode code before trying to set this feature. Refer to Multi-Code Method on page 17.*

Configurable Suffix  
Character #1



A suffix ID can be added and assigned for data transmission. Use this code with a 3 code byte sequence, on page 35, which represents the desired character.

Configurable Suffix  
Character #2



Assigns a second configurable suffix character.

# Code Formatting

## UPC/EAN Formatting

\* Transmit UPC-A Check

Digit



Do Not Transmit UPC-A  
Check Digit



Transmit UPC-E Check

Digit



\* Do Not Transmit UPC-E  
Check Digit



Expand UPC-E to 12

Digits



\* Do Not Expand UPC-E  
to 12 Digits



Expand UPC-E bar codes  
to the 12 digit equivalent,  
UPC-A bar codes.

---

\* Send Number System on Expanded UPC E



Do Not Send Number System on Expanded UPC E



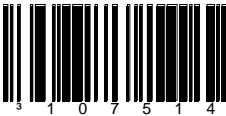
Enable GTIN Formatting



\* Disable GTIN Formatting



Convert UPC-A to EAN-13



\* Do Not Convert UPC-A to EAN-13



The scanner converts UPC-A to EAN-13 by transmitting a leading zero before the bar code.

---

Transmit Lead Zero on  
UPC-E



This option will transmit a zero before each UPC-E bar code.

Do Not Transmit Lead  
Zero on UPC-E



Convert EAN-8 to EAN-13



The scanner will transmit five zeros before the bar code to convert EAN-8 to EAN-13.

\* Do Not Convert EAN-8 to  
EAN-13



ASCII (HEX)	ASCII Control	Extended Key
00H	Null	Numeric Keypad + (Plus)
01H	SOH	Num Lock
02H	STX	Down Arrow
03H	ETX	Numeric Keypad - (Minus)
04H	EOT	Insert
05h	ENQ	Delete
06H	ACK	System Request
07H	BEL	è (Right Arrow)
08H	BS	ç (Left Arrow)
09H	TAB	Tab
0AH	LF	Caps Lock
0BH	VT	Shift Tab
0CH	FF	Left Alt
0DH	CR	Enter
0EH	SO	Left Control
0FH	SI	Up Arrow
10H	DLE	F1
11H	DC1	F2
12H	DC2	F3
13H	DC3	F4
14H	DC4	F5
15H	NAK	F6
16H	SYN	F7
17H	ETB	F8
18H	CAN	F9
19H	EM	F10
1AH	SUB	Home
1BH	ESC	Esc
1CH	FS	Page Up
1DH	GS	Page Down
1EH	RS	Print Screen
1FH	US	End

# Code Bytes Usage

The scanner must be in Configuration Mode for the features requiring code bytes for configuration. The Enter/Exit Configuration Mode bar code must be scanned before starting the configuration cycle. User configurable prefix/suffix characters can then be saved by scanning the 3 digit decimal equivalent of the ASCII character into the appropriate character location with the code byte bar codes.

**Example:** To add an asterisk (\*) as a Prefix, scan the bar codes.

1. *Enter/Exit Configuration Mode* (3 beeps)
2. *Configurable Prefix #1* (1 beep)
3. *Code Byte 0* (1 beep)
4. *Code Byte 4* (2 beeps)
5. *Code Byte 2* (3 beeps)
6. *Enter/Exit Configuration Mode* (3 beeps)

## Code Bytes 0–9

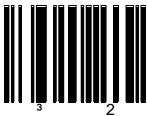
Code Byte 0



Code Byte 1



Code Byte 2



Code Byte 3



---

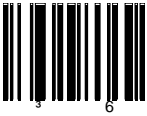
Code Byte 4



Code Byte 5



Code Byte 6



Code Byte 7



Code Byte 8



Code Byte 9





---

## Reserved Codes

Enable Reserved Code



Disable Reserved Code



## Code Type Table

Code Byte	Code Types
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	Interleaved 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15 digits)
094	Matrix 2 of 5
095	Telepen
096	UK Plessey
099	TRI-OPTIC
098	Standard 2 of 5
097	Airline (13 digits)

---

## ASCII Reference Table

HEX Value	Decimal Value/ Code Byte Value	Character	Control Keyboard Eqv
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	\

HEX Value	Decimal Value/ Code Byte Value	Character	Control Keyboard Eqv
1D	029	GS	^
1E	030	RS	_
1F	031	US	space,blank
20	032	SP	
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	apostrophe
28	040	(	
29	041	)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	comma
2D	045	-	minus
2E	046	.	period
2F	047	/	
30	048	0	number zero
31	049	1	number one
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	

HEX Value	Decimal Value/ Code Byte Value	Character	Control Keyboard Eqv
3C	060	<	less than
3D	061	=	
3E	062	>	greater than
3F	063	?	
40	064	@	shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	letter I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	
4F	079	O	letter O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	

HEX Value	Decimal Value/ Code Byte Value	Character	Control Keyboard Eqv
5A	090	Z	
5B	091	[	shift K
5C	092	\	shift L
5D	093	]	shift M
5E	094	^	à,shift N
5F	095	_	♣, shift O, underscore
60	096	‘	accent grave
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	l	
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	

HEX Value	Decimal Value/ Code Byte Value	Character	Control Keyboard Eqv
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		vertical slash
7D	125	}	alt mode
7E	126	~	(alt mode)
7F	127	DEL	delete, rubout

## Extended Key Code Reference Table

Key	At Scan Code	PS2 Scan Code	ASCII	Prefix/Suffix Value Hex = Decimal
é	75H	48H	63H	80H = 128
ê	72H	50H	60H	81H = 129
è	74H	4DH	6AH	82H = 130
ç	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
Right Alt	11H	38H	00H	8AH = 138
Right Ctrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
Reserved	00H	00H	00H	8CH = 140
Reserved	00H	00H	00H	8DH = 141
Numeric Keypad Enter	5AH	1CH	79H	8EH = 142
Numeric Keypad/	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150

Key	At Scan Code	PS2 Scan Code	3151	Prefix/Suffix Value Hex = Decimal
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
Numeric +	79H	4EH	00H	9CH = 156
Numeric -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
Numeric *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
Left alt	11H	38H	00H	A1H = 161
Left Ctrl	14H	1DH	11H	A2H = 162
Left Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
Right Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	A5H = 165
Tab	ODH	OFH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
Left ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
Left ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
Left CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
Left CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
*Left ALT + 1 character	11H	36H	00H	AEH = 174
*Left Ctrl + 1 character	14H	1DH	00H	AFH = 175
*Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send - Make Only			58H	C5H = 197

\* Example:

1st Configurable Prefix = 174

2nd Configurable Prefix = 065

Scanner will transmit <left ALT Make> "A" <Left ALT Break>





# テクニカルサポート

テクニカルサポート、製品サービス、修理に関する情報は [www.youjieaidc.com](http://www.youjieaidc.com). で確認ができます。

# 条件付保証

出荷時にはその製品の材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるの公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはYoujie社の製品であっても対象外となります。( ) 設置または使用方法が不適切。( ) 正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または( ) 以下の結果損傷した場合：( A ) お客様または第三者が変更や改造を行った。( B ) インターフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。( C ) 静電気または静電気放電。( D ) 指定の動作パラメータを超える条件で使用した。( E ) Youjie社または正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、Youjie社の出荷時点から、ご購入時に製品に対してが公式に示した期間(「保証期間」)とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にYoujie社の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA (Return Material Authorization) が無ければ、はどんな製品も受け付けません。RMAは、に連絡すれば取得できます。

保証期間内にYoujie または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、Youjie はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。

ただし、Youjie への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるYoujie社の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、Youjie社は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じたYoujie社の賠償額は(そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく)、その製品のためにYoujie社にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性についてYoujie社が知らされていた場合であってもまったく有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。

その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

---

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。Youjie社提供以外の周辺機器を使用して故障した場合、保証の対象外です。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。Youjie社は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

保証期間は90日間です。

